

係体制が新しくなりました！

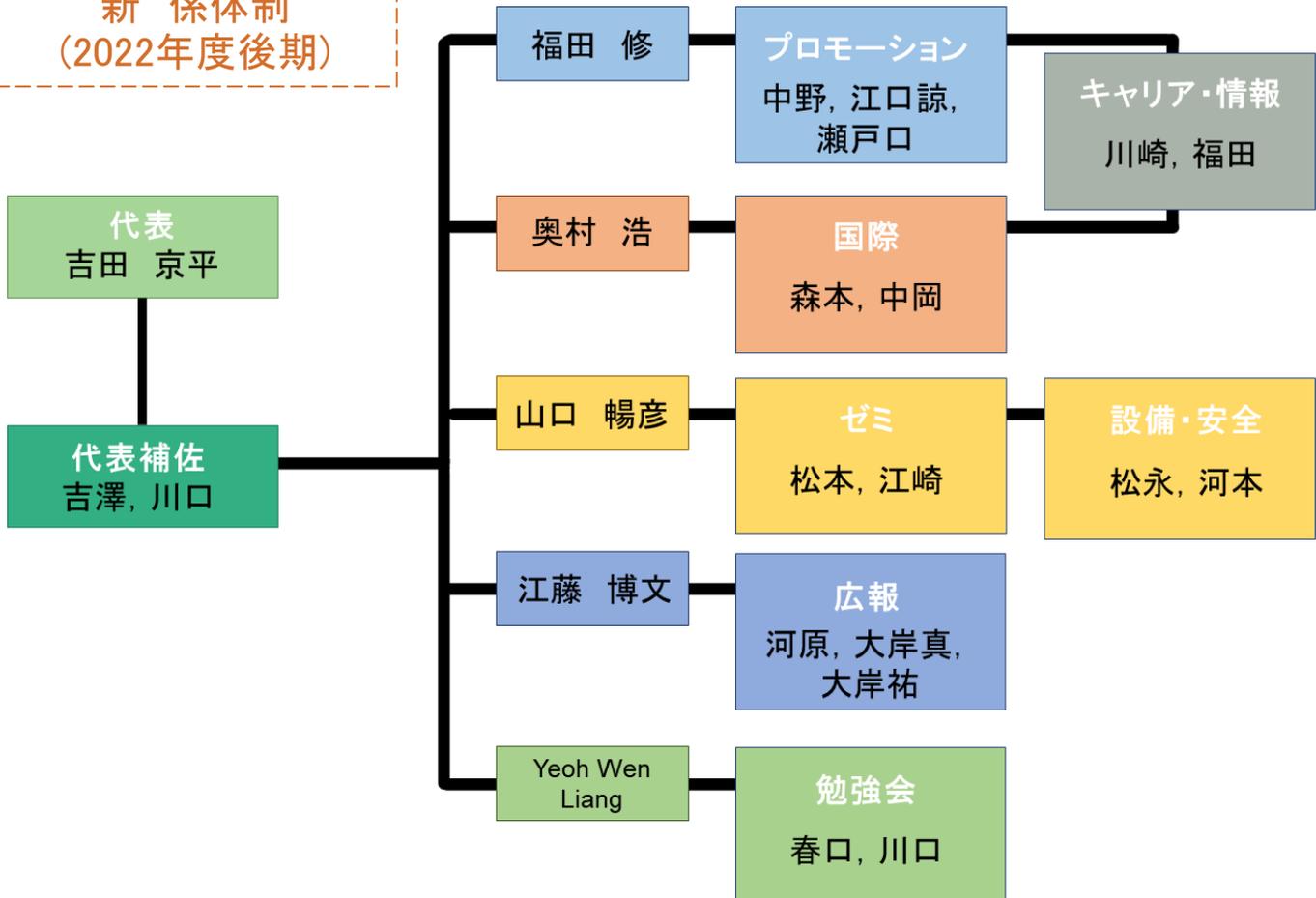
10月から係体制が新しくなりました。今回の大見出しは、1年間代表を務めた山田さんに感想を書いていたいただきました！また、大学院進学予定の4年生を加えた係体制も載せています。

昨年は代表補佐として、今年度は学生代表として、活動してきましたが、先生方、学生の皆様、そして中心となって係をまとめてくれたM2の方々のご協力のおかげでなんとかやり遂げることができました。今年から人数が多く苦勞する場面もありましたが、各係の方々が上手に仕事をしてくれたおかげで運営することができたと感じています。ご協力していただいた皆様、本当にありがとうございました！

来年からはさらに学生の人数が増え、現在までとはまた違ったカラーの研究室に生まれ変わると思います。すでに新体制として頑張っている係もあるように感じています。今後も新代表や会長(江口大君)を中心により良い研究室を目指してがんばってください。

執筆:山田 将司

新 係体制 (2022年度後期)



就職活動Q&A 先月のアンケートで募集した就活に関する質問に答えいただきました！ (M2, B4)

Q.説明会等だけでなく、インターンシップは行くべきか

- 行くべき. 面接したという経験は心の余裕につながると思う。
- 行くべき. 早期選考の案内が来ることも多く、面接の際にその企業の志望度が高いこともアピールできると思う。

Q.企業を選ぶ際に何を重視していたか

- 企業規模.
- 自分と企業の相性. 自己分析でどんなことが得意なのか知り、自分の能力が思う存分発揮できそうな企業を選ぶようにしていた。

Q.就活時にやっておいた方が良かったと後悔したこと

- もともと院進の予定だったため、1月まで就活のことは全くしていなかった。院進の予定でも就職する可能性がある場合、企業説明会を受けたり、インターンシップに参加したりしておいた方が良いと思う。

Q.インターンシップはどんな内容か、またいつ頃やっていたか

- 夏と冬に、SE職のインターンシップに参加した。グループで課題への解決策を考えて、その内容をスライドで発表し、企業の方からフィードバックを貰うという内容だった。



豆知識掲示板

研究室の皆さんの、読むと少し役に立つような豆知識を紹介します！

『後宮の鳥』という小説をご存じでしょうか？後宮とは古代中国において皇帝や妃が住んでいた場所です。この小説はそんな後宮に住むある一人の妃「鳥妃(うひ)」を中心として、過去に後宮で起きた事件の謎を不思議な力で解いていくといったファンタジー作品です。

後宮ならではの複雑な人間関係や、あの手この手を使って…というドロドロした部分が面白いです。後宮の役職や文化についても詳しく知ることができると思います。

今アニメもやっているようなので、気になった方は是非見てみてください！

後宮の鳥 徳丸拓希



引用：<http://orangebunko.shueisha.co.jp/book/4086801884>

半身浴 宮川俊二



自分のマイブームということで、私がちょっと前からハマっている半身浴について紹介したいと思います。

半身浴は、体の胸のあたりまでお湯に浸かることで、体の疲れが取れ、リラックスした状態になれます。また、むくみの改善や安眠効果もあるみたいです。

長時間浸かっても体への負担も少なく、自分は1回で30分ほど浸かっています。

これから冬になって寒くなってくるので、機会があればぜひ半身浴をしてバスタイムを楽しんでください。

研究プロジェクトについて

CPS LABOで実施している研究プロジェクト

私は「教育」と「研究」は大学の両輪と考えています。

皆さんにとっては、「研究」は学部3年生までの「教育」を昇華させる舞台とも言えるでしょう。「教育」は、概ねどの大学でも一緒なのですが、「研究」は我々の頑張り次第でどこまでも青天井に充実させることができることを前に書きました(2022年5月号)。プロジェクト提案は、この「研究」を推進するための極めて重要な第一歩です。我々のような国立大学の場合、授業料や国からの補助だけでは、十分な研究費が充当できないので、研究プロジェクトの提案により多くの研究活動が支えられています。

実は、プロジェクトを立ち上げるのは中々大変で、大学の研究室は、創意工夫を凝らしながら、新たなプロジェクト提案をし、それが厳しい審査に晒されることで研究費を獲得しています。

逆に、研究費を獲得できているということは、その研究や研究室が学協会や社会で認められ、エンカレッジされているという証拠になります。例えば、CPS LABOでは、現在複数の研究プロジェクト (http://cps.ip.is.saga-u.ac.jp/?page_id=78) が並行して走っています。多くの場合、これらのプロジェクトは、研究室に在籍した諸先輩方の研究成果がベースになっていて、研究室が一丸となって良い研究をしてきた成果です。

また、この活動を継続することが、皆さんの後輩の研究活動を支えることに繋がると思っています。もちろん、研究室の円滑な運営は、日々の皆さんの努力が一番大事であり、プロジェクト提案や研究費は、あくまで一つの側面でしかありません。研究室には将来のプロジェクトの種が沢山あり、今後も魅力的なプロジェクトをどんどん立ち上げられたらと思っています。今年の研究室の活動もこれから山場を迎えます。諸先輩方による研究成果や研究室運営に感謝しながらも、青天井を突き抜けるような研究ができるように皆で精進しましょう。

執筆:福田 修



編集後記

こんにちは、新広報係の大岸祐依です。新体制になり初めての係で慣れないことも多いですが、頑張っていきたいと思います！

これからよろしくお祈りします。

今回の背景画像は江藤さんにいただいたバルーンの写真です。

今年のバルーンフェスタは3年ぶりに有観客で実施されるそうです！

先月の研究室クイズの答え:

62人。

10月から3年生も配属され、総勢62名となりました。

3年生の皆さんは、勉強会なども実施されているのでぜひ参加してみてください。

みなさん仲良く頑張りましょう！

筋電の勉強会の様子→



撮影:江藤 博文

今月の研究室クイズ

右の写真のぬいぐるみはどこにあるでしょう？

次号の編集後記で答えを発表します。お楽しみに！

